



志津南 news

志津南ホームページ
<http://shizu373.net>

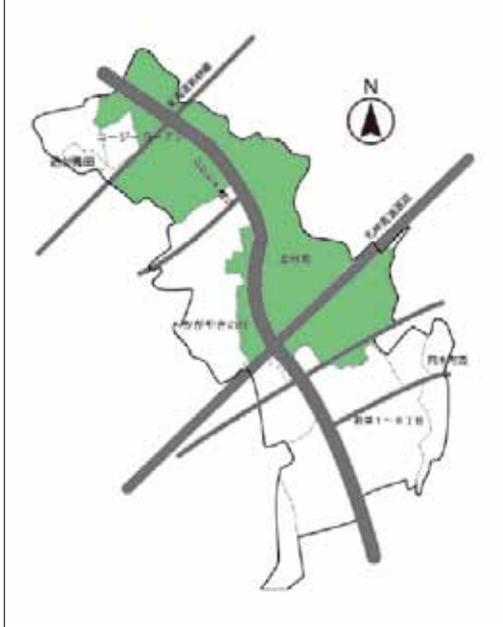
発行
志津南学区まちづくり協議会
(事務局) 077-507-6496

まち協だより

第8回理事会 (平成27年1月10日)

- ① 12月13日の追分南町内会との第4回協議で詳細についても合意を得たが、追分南町内会の役員会で疑義があったことから1月10日に第5回協議を行い、疑義について説明、理解を得た。
- ② 若草一丁目からかがやき通りに入る交差点の黄色の路面標示について、12月中に実施される予定だったが、市と業者の連携不足で遅れており、1月中には実施されると回答を得ている。

臨時総会は文書審議の方法で実施されました。具体的には、議案書が代議員に配付され、会則改正案の議案についての賛否の回答書を、1月31日までに町内会長



- (年額15000円) (今年度は年額18000円)
 - ② 家族用賃貸マンション (集合住宅) は月額1000円 (年額12000円) (新設)
 - ③ 単身者・学生用の賃貸マンション (集合住宅) は月額25円 (年額3000円) (今年度は年額12000円)
- 臨時総会の結果を踏まえ、加入に関する合意書を追分南町内会と交わし、4月1日から正式に加入してまち

追分南まち協加入で会則改正 各団体の活動活性化に期待

追分南町内会の4月1日からの加入に向けて、まち協会費の変更に関する会則の改正が必要となり、1月10日の理事会で会則改正案の議案が承認され、臨時総会に付議されました。

臨時総会は文書審議の方法で実施されました。具体的には、議案書が代議員に配付され、会則改正案の議案についての賛否の回答書を、1月31日までに町内会長

追分南町内会との第4回協議で詳細についても合意を得たが、追分南町内会の役員会で疑義があったことから1月10日に第5回協議を行い、疑義について説明、理解を得た。

若草一丁目からかがやき通りに入る交差点の黄色の路面標示について、12月中に実施される予定だったが、市と業者の連携不足で遅れており、1月中には実施されると回答を得ている。

賛成で可決され、まち協会費は4月から次の通りとなります。

① 一戸建は月額125円

づくり活動に参画することになります。これで、まち協の活動範囲がほぼ志津南小学校の通学区域を網羅し、

地震時の心構え学ぶ 自主防災連が防災講座

自主防災連が防災講座

自主防災連合会(笠本博之会長)は1月31日、各地で数多く防災・減災の啓発活動や支援活動を行っている高島市ボランティアグループ「なまず」を招き、市民センターで防災講座を開催、58名が参加しました。

「なまず」のみなさんは「万一の震災時、家族の「命」を守るための正しい知識や心構えについて身近で分かり易いようにと、漫才・クイズ・腹話術・大型ロール紙芝居・歌などを織り交ぜながら関心を高めました。

地震発生時、一番安全な場所? 答えはトイレ。理由は狭いスペースで三方が壁

で囲われているから。家の崩壊で閉じ込められた時水無しで生き延びられるのは最長3日間ほど。従って身近に飲み物を常備していることが大事と訴えました。

また「真夜中に地震が発生し停電している時はまず足の保護をしてから動かないとけがをして避難出来なくなります」など具体例が示されました。



各種団体の活動がより活性化されることが期待されます。

出席者の多くの方々にとっても参考になったと思われま

す。

まとめとして地震から命を守る7つのステップとして①地震でゆれている時はまず身の安全確保を図る②ゆれが終わったら、室内や火の元に異常がないか安全確認をする③火災に気づいたら、初期消火に当たる④その後の情報収集に努める⑤家族・知人の安否確認に努める⑥命や日常生活に最低必要なものを持ち出す⑦安全な場所に避難するなどまとめた資料が配布されました。

自主防災連合会は今後も住民の皆様の自助・共助に役立つ行事を開催して参りますので積極的にご参加のほどお願いします。

資源回収

- 2月15日・3月1日 若草一丁目〜五丁目
- 2月22日・3月8日 若草六丁目〜八丁目
- 岡本町西
- 2月28日・3月14日 かがやきの丘

- 回収品
- 古新聞(チラシも可)
- 古雑誌・段ボール・古着
- ☆朝9時までに自宅前へ

心新たに 書き初め



志津南学区子ども会の書き初め大会が1月10日、志津南市民センターで行われました。写真。

当日は1年生から6年生までの55名の子ども達が参加し、西口青咲先生らの指導のもと、新年の心も新たに筆をふるいました。子ども達は書き初め用紙に向かい真剣な表情で、思い思いの言葉を文字に託していました。

この日の作品は志津南市民センターに展示するとともに、草津市子ども会書き初め大会に出品され、北岡朋丈君(志津南小6年)の作品が朝日新聞社賞に選ばれました。

れたほか、6名の作品が入賞しました。みんなの作品はくさつ平和堂に展示され、入賞作品はその後草津市

若草3自主防災会が表彰を受ける



若草3自主防災会訓練

草津市の出初式が1月11日午前、1部式典、2部消防訓練の二部構成で市役所

草津市の出初式が1月11日午前、1部式典、2部消防訓練の二部構成で市役所

で開催されました。1部の式典では、消防活動に貢献した各種団体、個人が、表彰されました。

このうち、若草三丁目自主防災会が優良自主防災組織に選ばれ、表彰されました。

式典が終わったあと、2部では、市役所前で、消防署消防団による消防訓練が披露されました。消防車を使った消防操作訓練の披露のあと、はじこ

ちづくりセンターにも展示され多くの方に見ていただくことができました。

車と消防車による力強い、一斉放水が披露されました。消防車の出動は、最後の安全活動ということで、式典の最後には、出席者全員で防火・防災を誓いました。

元気よくもちつき大会

志津南学区地域協働合校推進委員会(岩井淑郎委員長)は1月24日、志津南市民センターでもちつき大会を開催、子ども98人、大人スタッフ61人の約160人が参加し今年度最後の事業を盛況のうちに終えました。写真。



積雪で明けた新年、当日も雪空を心配しましたが、温かい上気候に恵まれ、会場では2日(うす)を大人たちが威勢よくついたあと、子どもたちがスタッフから杵の持ち方を教わり順々に掛け声に合わせてながら

ばってつきました。自分たちのついたお餅をちぎって丸め「きな粉・あん・大根おろし」などをつけて笑顔で食べ満足そうでした。また、温かい具沢山の豚汁も添えられました。

各事業の中でも恒例のもちつきは、子どもたちの健やかな成長を見守り育てる大勢の大人たちと世代を超えて交流・協力して共に活動する理念を柱に十分な成果をあげています。

左義長で厄払い



ふれあい委員会(藤本佳博委員長)は1月12日、毎年恒例の左義長を開催しました。写真。

寒い天候でしたが、多くの方が、厄払いに来られました。赤々と燃え続ける左義長に熱いほてでした。会場では、ボランティア

泉のみなさんによる暖かい「ぜんざい」、子ども会のみなさんによる、「ホット・カールビス」のサービスがあり、身体の中からも、暖まることができました。

ありがとうございました。

寒い中、ふれあい委員会の事務局長山本さんを中心に、各町内会の会長、副会長、事務局のみなさんのご協力でスムーズな準備と開催できました。ありがとうございました。

本年の全町内会のみなさんの「家内安全」「開運招福」をお祈りします。



◇ソーラー発電
お母さん 今、消費税は8%だけど、来年度から10%になるのかしら。
家計に直撃するから、今か

町並み保存委員会から

◇ソーラー発電

ら節約しなくてはね。
お父さん そうだな。車はハイブリッド車にして、光熱費削減のためにソーラー発電(太陽光発電)にしてもいいね。
お母さん ソーラー発電(太陽光発電)は屋根に取り付けるのよね。
町並み保存規則の届出は要らないのかしら。
お父さん 屋根の形状が変わらないから要らないんじゃないかな。
念のために副会長(町並み保存委員)さんに聞いてみ

るよ。



副会長(町並み保存委員)聞いていただいて良かったです。

確かに屋根の形状は変わりますが、屋根を葺き替えのと同じで、材質や色によって外観が変わりませんか。

【関係条文】

地区計画の地区整備計画 建築物等の形態または意匠の制限1つによる。
若草地区町並み保存規則 基準の1-②-1による。
建築物の塗装色には、赤・青・ピンク・紫色等周辺に調和しない色および蛍光色は使用してはならない。

税改正と落語がコラボ

志津南市民センター（公民館）は1月22日、「志津南シニアのつどい」を同センターで開催しました。

第一部は「知っていますか？税制改正のこと〜争族にならない相続のために」と題して、1級ファイナンシャル・プランニング技能士の志田智子さんが今年1

月1日付けで改正された相続税について解説しました

「写真。参加者から質問も多く出され、「相続についてはまだ先のことだったが、ちょっと考えてみようと思った」「基本を覚えていただけて良かった」などと感想をもらっていました。

第二部は近江落語会の若

草亭八跳（わかきょう）さんによる「新春初笑い落語会」

写真。演目は「夢」で、長屋に住む男の見た夢はどんな夢？気になって仕方がない妻がお奉行様まで巻き込んだの騒動をおもしろ



かがやき通り

フォト散歩



平成27年の元旦は穏やかな日差しに包まれて明けた。と思っていたら次第に雲行きが怪しくなり、夕方から雪が舞い始めた。夜には本格的な雪となり、一夜明けると一面銀世界。近年珍しい雪景色は冬の風情を感じさせたが、それもつかの間。フランスでのテロ事件、「イスラム国」という物騒な勢力による日本人拉致事件が起こり世界は騒然となった。ヒツジ年にふさわしくない面妖な幕開けではある。

志津南学区
人権教育推進
委員会と志津
南市民センタ
ー共催の「町
内学習懇談会
結果報告会お
よび人権講座」
が1月31日、
同センターで
開催され、98
人が参加しま
した。写真。

「町内学習懇
談会結果報告
会」では、各町内会より10
月に行われた町内学習懇談
会の内容が報告され、それ
ぞれの取り組みや意見を発
表しました。今年度は、「か
がやきの丘町内会」「コージ
ーカーテン自治会」「追分鴨
田町内会」の3町内会も加
わり、より活発な意見が出
されました。今年度の町内
学習懇談会には延べ158
人が参加しました。

「人権講座」では、桜井智
恵子大阪大谷大学教育学部



学習懇と人権講座

おかしく巧みな話芸を披露
しました。

「地域にこんなに素晴らしい
方がおられるのなら度々
聞きたい」「生の落語を聞け
てよかった」と、38名の参
加者は大満足、盛りだくさ
んの内容に充実した時間を
すごしました。

教授が「子どもの声を社会
へ」をテーマに講演しまし
た。



若草第3集会所の トイレが洋式に

若草地区集会所管理委員
会は昨年12月27日、若草第

子ども達の現状や世界からみ
た日本の教育現場の課題に
ついて問題提起。子ども
のために必要な居場所と関係
づくりを築く大切さ、地域
の重要性を指摘、「志津南で
も、大人が自由に生きて、
悲観的でない表情を子ども
にみせてあげてほしい。子
どもに今日も生きていてく
れてありがとうと存在承認
の言葉をかけてあげてほし
い。それにふれた子どもた
ちが10年、20年後に地域に
育てられたことを胸に秘め
た市民に育っていくのだ」
と訴えました。

参加者からは、「子どもに
どのように接するのか立ち
止まって考える機会となっ
た」、「家に帰ったら子ども
を抱きしめてあげたい」、「子
育ては終わったが今日のお
話を胸に孫に接していきたい」
などの感想が寄せられ
ました。

三集会所トイレを洋式トイ
レに改修しました。

同集会所は第一次分譲時
に建設され、他の集会所と
違ってトイレが唯一和式と
なっていました。利用者
も子どもから高齢者まで幅
広く、洋式トイレに改修し
て欲しいとの要望が多く寄
せられていました。

楽しく昔遊び



志津南小学校の1年生(4クラス、〇人)が1月19日、〇〇で「昔あそび」を体験しました。写真は、

当日は学区内の遊びの達人21名がお手伝い。日頃は、

ゲームで遊んでいる子どもたちも、昔から伝承されている遊びを習おうと笑顔でみなさんを迎えま

した。「おはじき」「けん玉」「コマ」「お手玉」「ダルマ落とし」「あやとり」と分かれた各教室で達人たちが構えていると、「よろしくお願いします」と、笑顔であいさつを交わすと早速体験が始まりました。



「おじちゃん」「おばちゃん」の優しい指導を一生懸命聞きながら得意げに遊んでいた子どもたちは、さらに難しい技にチャレンジ。うまくできなかった子ども短い時間の間に、「出来たよ」とうれしそうに何度も見せてくれた子ども、やってみたいけど出来ないなあとも不安そうな顔の子ども。どの子ども最後は達成感で笑顔。また子どもたちから「上手やなあ」と達人がほめられる場面も。手伝った人たちは孫のような子どもたちを相手に童心にかえり、ぎやかに楽しく交流しました。

25日に認知症予防講座

やすらぎ学級

志津南市民センター(公民館)は、一般のみなさんにも参加していただける公開講座として、第9回志津南やすらぎ学級を次の要領で開催します。

講座ではNPO法人認知症予防ネットの高林実結樹さんが「認知症予防ゲーム」を行います。「あかるく」「あたまたまをつかっつて」「あきらめない」のスリーA方式による認知症の予防に役立つゲームです。

講座で楽しく学んだ後は、やすらぎ学級のサークル活動にも自由に参加していただけます。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成27年2月25日(水) 午後1時30分

★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

場所 志津南市民センター(公民館) 大会議室
対象 草津市内在住・在勤の60歳以上の方
参加費 無料

折々の記



「誰かベランダに勝手に寝泊まりしている人がいる」。娘からの電話に驚かされたのは、ツイ先日です。よく聞いてみると、ベランダの床下(1階からは天井裏)に鳥がもぐりこんで、ねぐらにしているらしいのです。鳥の糞がどうも目立つと思っていた矢先、たまたま夜に覗いてみたら、奥に目が2つ。巣を作っているわけではなく、単純に雨風をしのぐ場所と目星をつけただけのようですが、卵でも温め出したらどうしよう、追いつけました。大騒動が始まりました。

観察したところ、どうやら「びよ丸」(仮名)は、正社員らしい。夕方6時き

「誰かベランダに勝手に寝泊まりしている人がいる」。娘からの電話に驚かされたのは、ツイ先日です。よく聞いてみると、ベランダの床下(1階からは天井裏)に鳥がもぐりこんで、ねぐらにしているらしいのです。鳥の糞がどうも目立つと思っていた矢先、たまたま夜に覗いてみたら、奥に目が2つ。巣を作っているわけではなく、単純に雨風をしのぐ場所と目星をつけただけのようですが、卵でも温め出したらどうしよう、追いつけました。大騒動が始まりました。

来月2日に 税の申告相談

草津市・滋賀県民税の申告、所得税の申告(確定申告)などの申告相談を3月2日

志津南市民センターで行います。相談時間は午後1時から同3時30分です。詳しくは、広報くさつ2月1日号をご覧ください。

つかりに帰宅します。近所のホームセンターに行つてはみたものの、決定的な鳥よけグッズは見当たらず、キラキラ光るCDなども恰好よくないということで、結局グッズを購入。網の代わりに、隙間に縦横に巻きつけてみました。6時になつて、びよ丸帰宅。苦労してグッズを巻いたところからは、入れなかったのです。が、もつと奥から侵入。どうやら、

ベランダ下のアパ

びよ丸

1トは3室並んでいたのです。中はひと続きなので、入口は3カ所。1号室に入れないびよ丸は3号室から入室していました。

お隣のおばあちゃんの話によると、びよ丸はかつてお隣にねぐらを借りていたジョウビタキのキーちゃんらしい(笑)。翌朝、出社を見計らって、入口を3室共に巻いてみたけれど、奥は粗くなってしまいました。夕方、どこにも寄り道せず

に真っ直ぐに帰宅したびよ丸は何とか入ろうと奮戦。何とか入れまいとホースで水を撒いてこちらには応戦。最後は諦めたびよ丸、駅前のビジネスホテルにその日は宿をとったようです。数日の戦いで、何とか姿を見なくなりました。

周囲の山が切り開かれ、オシャレな家がどんどん建つていきます。人が移り住んで、店ができ、町が出来ていくのと同時に、鳥

たちはねぐらを失います。諦めて、一層奥の山に移り住んでくれれば良いのですが、そこもいずれは人が山を壊しにかかるかもしれません。ここ志津南のように里山を残しつつ、人がうまく自然と共存できる町がありがたいのだと思ひました。

びよ丸は安全なねぐらを見つけたでしょうか。(C・Y)